

- 気候のカリキュラムの批判と試案, 天気, 12, 329-333.
- 6) 竹内丑雄, 1967: 小学校における気象教育(1), 気温について, 天気, 14, 151-155.
- 7) ———, 1968: 小学校における気象教育(2), 風・湿度・雨・雲について, 天気, 15, 391-395.
- 8) ———, 1970: 小学校における気象教育(3), 低学年指導について, 天気, 17, 69-73.
- 9) ———, 1971: 小・中学校の気象教育, 天気, 18, 175-178.
- 10) 高橋喜彦, 1971: 高等学校地学の学習指導要領の変遷, 天気, 18, 179-182.
- 11) 駒林 誠, 1971: 大学と大学院と気象大学の気象教育, 天気, 18, 183-189.
- 12) 太田芳夫, 1972: 学校気象観測による富山県内の風と視程, 天気, 19, 85-90.
- 13) 会田 勝, 1972: 教育系大学・新制大学における気象学の発展, 天気, 19, 628-629.
- 14) 日本気象学会長期計画委員会(浅井富雄), 1976. 大学における気象教育の現状, 天気, 23, 583-585.
- 15) 岸保勘三郎, 1977: 教育と普及の委員会発足と学会の長期計画, 天気, 24, 1.
- 16) 中央教育研究所, 1976: 児童の理科的興味・疑問についての研究, 中央教育研究所報告第8冊.

≡≡≡ 支部だより ≡≡≡

「台風に関するシンポジウム」盛会

日本気象学会関西支部は、航空気象研究懇話会と共催で表記のシンポジウムを大阪空港ビル7階会議室で開催した。当日は、航空会社、気象協会のほか大学、近畿地建、関西電力、府公害センター等気象台関係者以外からも多数参加され、聴講者は約80名に達し、会場一杯になった。折から熱帯低気圧が潮岬南方にあり、台風に対する関心が高かった日でもあり、盛んに質疑応答がなされ、討論時間も不足気味なほどであった。

初めに山元支部長から開催に至る経過を中心にあいさつがあり、最後に岡林大航所長が謝辞でしめくくった。

話題要旨は次のとおりで、大西理事の座長で進められた。

○ 台風と航空機の運航について

全日空 佐古之彦

航空機運航管理者の立場から、昭和51年の台風による欠航便を調査し、その原因は台風に伴う強風によるものであり、とくに滑走路に対する横風成分が運航に支障があることを論じ、各空港の風の特性を詳細に発表した。

○ 台風の進路予報について

大阪管区気象台 久保田利一

気象庁で行なっている台風の進路予報について詳しく解説し、その扇形表示・速度等の精度等について説明した。

さらに、予報がはずれた台風の特徴を実例で示し、地形による変形などについて話した。

○ 気象衛星から見た台風

大阪航空測候所 岡林俊雄

台風に関する気象衛星写真について解析し、台風の発生から衰弱まで、その雲パターンの特徴、進行方向の推定法にふれ、中心が2つある場合や顕著な外側降雨帯についてその特徴を説明した。

○ 被害台風の特徴について

京都大学 光田 寧

台風による被害対策のため、モデル台風を作り、その強風分布を推定するため、気圧分布式を実際の資料を使用して決定した。その結果はよく一致し、進行速度・摩擦の影響を入れて、台風周辺の風速分布をモデル的に示した。

(古橋重利)